

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	医薬品副作用等被害救済事務費等補助事業	事業開始年度	平成21年度			作成責任者	
担当部局庁	医薬食品局	担当課室	安全対策課			課長 森 和彦	
会計区分	一般会計	上位政策	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	薬事法第77条の4の5	関係する計画、通知等	独立行政法人医薬品医療機器総合機構中期目標 独立行政法人医薬品医療機器総合機構中期計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	薬害肝炎事件の反省に立ち、医薬品・医療機器による健康被害の再発防止を図る観点から、未知の副作用を早期に検出して注意喚起等するため、安全性に関する情報の収集・分析・評価体制の充実のために独立行政法人医薬品医療機器総合機構の安全対策要員の増員を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人医薬品医療機器総合機構の安全対策に係る人員(47人分)の person 費及び管理費を手当することにより、国内全副作用症例を対象とした精査が可能で、優位な情報の迅速な抽出とより専門的な調査のため、薬効群毎の専門職チーム制(専門協議体制)を導入するなど、危機管理情報に迅速・確実に対応できる体制作りを行い、科学的根拠に基づく国際連携による安全性評価・リスク管理を実現し、患者・医療現場にとって真に有益な最新情報を届け、活用を促進する。【補助金:補助率10/10】						
実施状況	平成21年度は、7月からの9ヵ月分の補助であったことから、新規採用のシーズン後からの採用開始となり、医師や生物統計学を専攻する者等医薬品の安全対策を担うのに必要な分野の人材の確保が困難となり、定員を充足することができなかった。						
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求	
	予算額(補正後)	-	-	395	502	498	
	執行額	-	-	291			
	執行率	-	-	74%			
	総事業費(執行ベース)	-	-	291			
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	実施状況欄にも記載したが、平成21年度中に定員を充足することができなかったが、平成22年4月1日付採用において、補助金によって賄われる定員47名の充足を完了することができた。					
	見直しの余地	独立行政法人医薬品医療機器総合機構の安全対策に係る人員(47人分)の person 費及び管理費のみで構成される補助金のため、見直しの余地は限られるが、事務所の賃貸借契約の見直しなどの際に、見直しの余地は発生するため、今後とも見直しが可能になった際には、積極的に見直しを行いたい。					
予算・監視・所見率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映)  医薬品の安全性に関する情報の収集、分析、評価体制の充実に必要な経費であるが、管理費などについては効率化を図るべきである。						
補記							

厚生労働省  
291百万円  
独立行政法人医薬品医療機器総合機構  
の安全対策部門47名分の人件費及び  
管理費を補助



【補助】

A. 独立行政法人医薬品医療機器総合機構  
227百万円  
安全対策部門において安全対策を実施



【随意契約】

B. 三井デザインテック(株)  
9百万円  
事務室の改修工事

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.独立行政法人医薬品医療機器総合機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	安全対策部門	179			
外部委託	三井デザインテック(株) 事務室改修工事	9			
その他	事務所借料・事務所等清掃業務、 後納郵便料、電話料、消耗品購 入、電気・光熱料等	39			
計		227	計		0
B.三井デザインテック(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	事務室の改修工事	9			
計		9	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0